

波 紋

1991 12 第78号



11月24日 モーリンググループ家族忘年会

毎年恒例の家族忘年会。

今年は、ヒルトンホテル「銀扇の間」で行われました。盛大な料理、カラオケなどあって、和やかな雰囲気皆さん楽しい一日を過ごすことができました。それから、ゲストとして参加して頂きました荻原社長・宮本先生・喜代志松治先生・ゾランさん、お忙しい中を御出席有難うございました。

●交差点

「家族忘年会」

恒例のモーリン家族忘年会にたくさん参加ありがとうございます。

年々人数も増え、今年は約一〇〇名の方が集まり懇親を深める事が出来ました。(アメリカ研修中の牧野部長・大橋係長・岩間係長は残念でしたが)

私達が同業者の会合・法人会・異業種の会・得意先・仕入先等々、色々の会合に出席して、感動し、勉強し、シゲキを受けたり、なにかと考えさせられる事が多いが、家族忘年会も楽しさの中に、子供の成長や久しぶりの出会い、お互いの変化を確認して、自分自身やそれぞれの家庭・家族を見直す大変良い機会ではないでしょうか。

子供達の成長を見えますと、我々大人達の成長度は負けていると感じられる面もあります。「教育は共有なり」の精神で、家族・親子一緒にお互いが成長して行きたいものです。

快(こち良さ)と不快(おもしろくない)は比例している。自分が好きで、楽しい事をやっている時、反対されたり中止させられるとものすごく腹が立ちます。楽しさの量と同じ大きさ分、腹が立ち、イライラするものです。

でも、世の中自分の気持ちの良い事ばかりでない事が多い、その時、自分自信をどうコントロールするか、大変に重要な事ですね。

皆さん一緒に悩みましょう
相手の立場にも立ってね。

森 信之

トシ君の一方通行

ちつとも英会話が出来ない。これはどうも僕だけじゃなさそうで、つまり日本の教育のせいにしまおうという魂胆です。どういふ事かと言いますと、中学で3年、高校で3年一応勉強しました。これは、私だけじゃありません。日本国民の多くの人が勉強した訳であります。ところが実際の話、全く通じなければ聞く事も出来ないであります。そこで私は生徒のヤル気の問題ではなく、教育が悪いという結論を勝手に出しとります。

つまりですな「これはペンですか?」「いえ、これは机です」こういう馬鹿みたいな何の役にたたん事を発音関係無しにやつとるからアカンのです。大体、机見て、これはペンですか等と質問する訳がないと確信します。「あなたは一人の女の子ですか?」「いいえ、私は一人の男の子です」だって、しまいにやワタシヤグレレルよ。

ジャアどういう英語教育がいいとすれば、理屈抜きにこう教えるんです。「デルタのシアトル行きのカウンターは何処ですか」「パスの乗り場は何処ですか」等々、大人になつて役に立つ事です。役にたつ事が教育だからです。教育の原点は役にたつ事なのです。

高校になつたら口説き文句を教えますよう。「ああノ貴女の瞳を見てると、まるで吸い込まれるようだ」どうですか。立派に役にたちます事請合います。

木村英利

森松クインテッド

熱帯魚君

身のまわりに増えつつ代表的な珍人に熱帯魚君というタイプがあるとの話。

俳優の加勢大周君が涙で目をウルウルさせたCMがあったそうで、涙する男がアピールする時代になった。この泣く男性というのはたいてい熱帯魚君であるということ、よく目にするのは結婚式で両親に花束贈呈なんていう感動的な場面で、まず泣くのが新郎それも辺りかまわずワンワン泣く、隣りの新婦がニコニコしているのと対照的に、熱帯魚は南の暖かい海で、優雅に泳いでいる。水槽に入れても、やれ酸素だ、やれエサだ、やれ温度管理だと手間のかかることが多い。つまり両親の手厚い管理のもと、ひたすら優雅に育てられた男性が熱帯魚君ということです。

男は、怒るか笑うの二面だけで、涙を見せるのは一生に二回というのは映画か小説の世界で、今や、泣く・笑う・怒る・すねる・はにかむ・駄々をこねると、女性なみ六重人格の男性も世の中にできてきているそうです。この熱帯魚は、熱帯魚だけに料理に手間どるわりに、煮ても焼いても食えないそう。

山口隆弘

喜怒哀楽

ある土曜日の休日。長男(6才)は幼稚園に、女房は用事で朝から外出してしまい、本日は次男(2才)と2人だけ。どうせならこいつも連れていけばいいのと思いつつ、偶の事と諦める。女房が帰るまで2時間は有るな。

寝よう、まだ昨日の疲れが残っている。「寝るよ」と、玩具で遊んでいる次男を布団の中に誘う。「さては…ウツ臭い、したな。」おむつを替えなくては、「よいしょっと、これはたまらん。」成瀬さーん。「玄関から人の声。「あつちよつちよつと待つて下さい。」手元が焦る。「はい、何でしよう?」

「あ、御主人様ですか、奥様には○○、実は私くし○○」保険のセールスマン、いや、セールスおばさんだった。(この間10分ほど)気が付くと足元にいた次男がおらん。あ!本棚の本に落書きをしている。「あのすいませんが」と丁寧に保険屋を帰す。台所を見ると台所にも落書きが、怒る気にもなれない。「トホホ」である。気を取り直し布団に入る。「リーン、リーン」と電話の音。相手は義理の妹だった。(お姉ちゃんいる、出かけてるのあのさア…) (この間2分ほど)。

次男がおらん!今度は風呂場だった。風呂の水で服がベタベタ、今度は着替えた。

「もう寝る気になれん。」一人言を言いながらテレビをつける。それにしても子供は少しもじつとしていない。次から次へと玩具を出しては、飽きてはポイで有る。

「もう知らん勝手にしろだ。」私はただテレビで気を粉わしていた。テレビ番組が一つ二つ終る頃、いつの間、次男が寝ている事に気付いた。回りは散乱した玩具の山、そして落書き。…「ただいまあ」と女房の声、「おっお帰る。」

成瀬勝英

今、こんな本読んでます。

『儲かって笑いのとまらない』

『小さな会社の作り方』



小原にしき

初めに思った事は、この本に出てきた人達は、タイミングが良かったんだと思いました。それでも苦労はしてるし、儲かって、笑いがとまらなくなる前は、儲からなくて、涙がとまらなかつたんじゃないかと思えます。

この本には、それぞれの人が、今まで経験してきた事が書いてあり、結局、会社の作り方は、自分で考えろって事でした。私は、題名のような会社の作り方がのってる本があるなんて、簡単に考えていましたが、よく考えたら、本当に、題名のような会社の作り方があるなら、誰も苦労しないし、この本が、ベストセラーになっていったと思えます。

なんでも、挑戦してみる事、そういう気持ちで、大事な事だと思いました。会社を作る事には、挑戦するつもりはなくなりましたが、私が1人前になれるように、仕事や、それ以外の事でも、挑戦してみようと思えました。

『項羽と劉邦』



西川 明宏

私がこの本を読んだきっかけは、劉邦が漢の初代皇帝になる人物だからどんな人間なのか知りたかったことと、秦がどのような崩壊していかに興味をそそられたからです。

もともと成績は悪かったのですが、なぜか歴史だけは好きになってしまい、こういうたぐいの本は結構読みました。三国志ですと、やたらに武将の名がでてきて覚えるのも大変でしたし、気に入ってしまった武将が何人もいましたが、私は項羽だけのファンになってしまいました。

項羽と劉邦の人物を比べてみますと、確実に項羽の方が上で、特に武力に関しては中国史の中でもこれほどの人物はめったに存在しないと思います。しかし、この人物の武力は天性のもので誰も太刀打ちできなかったために、全くの苦労しらずだったのが欠点なのだそうです。

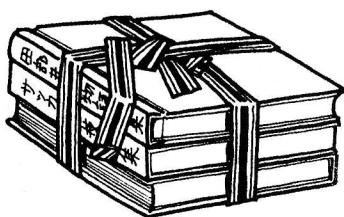
それに反して劉邦の方は天性にはほとんど恵まれず、一言でいえば能なし、私もこういうたぐいの

の人間なのでしたらこんな人間が成り上がったのだらうと思ったのですが、この人の才能は人をひきつける魅力があり、人の能を上手に使用して生きてきた苦労人なのだそうです。

現に劉邦は項羽に勝ったことが一回しかありませんでした。何度もしつこく戦をし、そのたびに打ちのめされ逃げまわり、それでも何度も軍勢をたてなおしていました。時には60万もの大軍を集めることに成功し、これならばと思いいつきに項羽を討とうと追ったものの、たつた3万の兵に全滅に近い損害をうけたこともあり、こんなことを人生の半分以上やっていたのはつらいものがあったのだらうと思えます。

逆に項羽は戦えば必ず勝ち、鬼神のように恐れられ、しかも性格も真つすぐな人間で妻も一人しかもたず、男らしい武将でした。

最後の最後に項羽は破れてしまいましたが、その原因も劉邦のたましうちによるものでしたから、項羽ファンの私としてはとてもくやししいです。生きていいうちに自分の欲しいものを手に入れるためにはあばれまわり、男らしくふるまい、若くして人々におしまれながら死んでいったこの人物を私はとてもうらやましいと思えました。



今月の社内行事

12月6日 加藤先生来社

7日 製造部忘年会
十八時より

9日 野球部納会
十八時より

13日 Y・M・S忘年会
十八時半より

14日 第二土曜日休み

21日 F・M・S忘年会
十七時より

23日 天皇誕生日

26日 経営会議
十六時より
営業会議
十八時半より

28日 仕事納め

1月6日 仕事始め 平常通り

暮らしのエッセイ

「マナー」

「マナー」って何でしょう？

自分は、あいさつ・礼儀・作法・思いやり・愛情・などを指すのだと思います。社員の基本姿勢にも、「挨拶は大声で。」とあります。あとは、気持ちを込める事ですな。

家や会社での自分の態度や心構えで、どんな環境を作ってゆくのが、ムツカシイ問題だと思えます。例えば、車の運転についてですが、ワガママ運転をする人が、よく目につきます。急に車線に割り込んで来たり、合図も出さずに急に止まったり。自分の意志表示を明確にする事や、それに応える心などが、思いやり、なんだと思います。

「まなあ」っていうのは、「愛合」って書き替えるのではないのでしょうか。お互いに相手の事を思いやる気持ちが大切ですね。

「マナー板の上のコイ」という言葉があります。鯉ならぬ恋ですが。イマドキは、マナー板の上に乗っているのは、男性の方のようです。困りましたね。

「マナー」を守る事によって、ストレスも少なく、快適で幸せな生活をおくれるのだから大切にしないといけないものだと思います。

大木 隆好

クイズコーナー

[11月号の答え]

- ① $\angle X = 180^\circ - 2(180^\circ - 124^\circ) = 68^\circ$
 ② BとCを結ぶ $360^\circ - (80^\circ + 45^\circ + 50^\circ + 110^\circ) = 75^\circ$
 $\angle P + 75^\circ = 180^\circ \quad \angle P = 105^\circ$
 $\angle X = 360^\circ - 105^\circ = 225^\circ$

※正解者の方には商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

編集後記

最近、すっかり寒くなってしまい、朝、起きることがつらくなってきました。けど私は夏よりも冬の方が好きなので、なんとか我慢できそうです。冬になると、クリスマスや、お正月などいろんな行事が沢山あって、楽しみです。忘年会、新年会の季節でもあり、お酒を飲む機会が多くなりますが、皆さんも飲みすぎには気を付けて下さいね。去年の冬には会社でスキーに行きました。けがもなく無事に帰ってこれたとても楽しかったです。今年もまた行きたいです。

大岩 美花

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
水野陽子

平成3年12月1日
第78号